

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010301010100		事業の種類	3	
年度	28	事務事業名	生涯教育企画調整事業		予算事業名	社会教育事業	
優先度	3		担当部局名	教育委員会生涯学習課			
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当課長	番匠 真由美		担当者名	勝山 護
施策名(中)	いつでもどこでも学べる環境をつくる		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
取組み事項	生涯にわたって学べる体制を整備する						
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規	社会教育法第15条及び第18条、生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	職員、関係課、文化団体、社会教育団体等					
	意図(どのような状態にしたいのか)	重複事業とならないように日程・内容調整を図り、効果的かつ効果的な生涯教育事業を推進する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要	国・県事業や市及び関係団体等、社会教育事業の企画・調整を行う					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	社会教育委員会	回数	1	3	1	1

3 投入資源

会計区分		一般会計		事業費単位:円					
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員			-		-		-	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	358,533	345,254	96	348,426	101	330,993	95	
	事業費	1,979,410	2,077,560	105	1,955,120	94	1,968,000	101	
	合計	2,337,943	2,422,814	104	2,303,546	95	2,298,993	100	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,337,943	2,422,814	104	2,303,546	95	2,298,993	100	
合計	2,337,943	2,422,814	104	2,303,546	95	2,298,993	100		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	社会教育委員会								
指標説明(式)	実施回数								
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
回数	目標	1	3	300.0	1	33.3	1	100.0	
	実績	1	3	300.0	1	33.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		公民館運営審議会開催回数							
指標説明(式)		回数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	重複事業による無駄・無理を排除し、効率的な事業を展開している	4
	市民サービス	社会教育委員会を開催し、委員の意見を反映させた施策を実施している	
効率性	執行体制の効率性	公民館運営審議会と統合し、効率的な運営を行っている	5
	コストの節減	公民館運営審議会との統合により、会議開催が減となっている	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね予定どおり	5

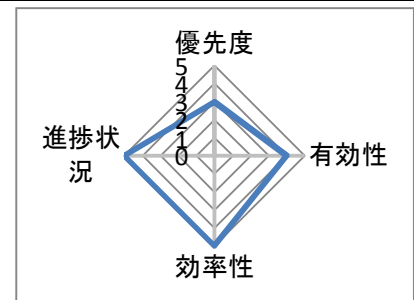
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	公民館運営審議会と重複する内容が見られるため統合した。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	社会教育委員会との連携を図る



配点	25
総合評価	20

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010301010200	事業の種類	4
年度	28	事務事業名	相生っ子学び塾事業	予算事業名	相生っ子学び塾事業 優先度 3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課
施策名(中)		いつでもどこでも学べる環境をつくる		担当課長	番匠 真由美
取組み事項		生涯にわたって学べる体制を整備する		実施計画への記載	無
実施計画事業名				担当者名	根津 恭平
実施計画事業名				主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民			
	誰(何)を対象として	市内小学校5, 6年生及び保護者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	将来を担う子どもたちに生きる力を付けさせる			

2 事業の概要 Do

実施の概要		地域のボランティアの参加により、家庭の経済的負担なしで希望者が参加でき、対象を5, 6年生とした国語・算数、英語の講座を開設する。				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	開設日数(国・算)	回	190	190	203	
	開設日数(英)	回	27	95	126	
	開設日数(珠算)	回		18	18	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.772	0.380	49	0.380	100	0.380	100	
	臨時職員	0.268	0.688	257	0.688	100	0.688	100	
支出内訳	人件費	6,991,229	4,921,486	70	5,005,342	102	5,238,065	105	
	事業費	4,163,679	4,061,975	98	4,491,602	111	5,273,000	117	
	合計	11,154,908	8,983,461	81	9,496,944	106	10,511,065	111	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	1,203,000	1,281,200	107	1,413,000	110	2,125,000	150	
	市債			-		-		-	
	その他	83,200	115,200	138	132,000	115	120,000	91	
	一般財源	9,868,708	7,587,061	77	7,951,944	105	8,266,065	104	
合計	11,154,908	8,983,461	81	9,496,944	106	10,511,065	111		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		児童のべ登録数							
指標説明(式)		(国語・算数登録)+(英語登録)+(珠算登録H27)							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人数	目標	200	250	125.0	250	100.0	300	120.0	
	実績	193	235	121.8	289	123.0			
指標名2		講座延開設回数							
指標説明(式)		(国語・算数延開設)+(英語延開設)							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
数	目標	226	297	131.4	316	106.4	320	101.3	
	実績	217	285	131.3	329	115.4			

【効率性】

指標名1		児童一人あたりコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷児童のべ登録数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	63655	42358	66.5	41760	98.6	35036	83.9	
	実績	57797	38227	66.1	32861	86.0			

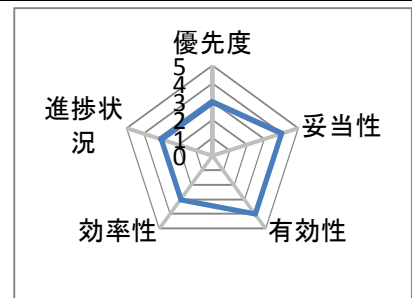
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	家庭の経済的負担なしで希望者が参加でき、希望者に勉強できる機会を提供できた	4
	成果の向上	定期的な講師の打合せにより、有効な授業形態を作り上げていく体制となった。	
効率性	執行体制の効率性	効果を得るためには学校との連携を拡大していく必要がある	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	どの科目も2年間で定着することができた。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	学習の評価方法



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	英語は中学校での学習に向けて、実践的な内容を身につけてもらう。

配点	32.5
総合評価	22

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010301020200	事業の種類	3	
年度	28	事務事業名	公民館管理事業	予算事業名	公民館管理事業	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち	担当部局名	教育委員会生涯学習課	優先度	3
施策名(中)		いつでもどこでも学べる環境をつくる	担当課長	番匠 真由美	担当者名	勝山 護
取組み事項		サービスの充実を図る	実施計画への記載	有	主要事業の指定	無
実施計画事業名		公民館環境整備事業 公民館維持管理事業	公民館維持管理事業			
根拠法規及び関連法規		社会教育法第5条				
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民				
	誰(何)を対象として	公民館施設運営				
	意図(どのような状態にしたいのか)	利用者のために公民館の維持管理をするとともに、公民館の運営について審議することで、各活動が行える状態にする				

2 事業の概要 Do

実施の概要		社会教育施設として管理運営を行う				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	施設	個所	5	5	5	
	公民館運営審議会	回数	0	0	0	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円			
インプット指標	26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104
	参事以下職員	0.200	0.280	140	0.280	100	0.280	100
	臨時職員	1.216	1.136	93	1.136	100	1.136	100
支出内訳	人件費	4,863,013	5,301,798	109	5,419,778	102	5,688,577	105
	事業費	13,692,792	12,834,745	94	19,636,109	153	23,383,000	119
	合計	18,555,805	18,136,543	98	25,055,887	138	29,071,577	116
財源内訳	国庫支出金			-	596,000	-	1,327,000	223
	県支出金			-		-		-
	市債			-		-		-
	その他	2,162,300	2,095,350	97	1,960,850	94	1,969,200	100
	一般財源	16,393,505	16,041,193	98	22,499,037	140	25,775,377	115
合計	18,555,805	18,136,543	98	25,055,887	138	29,071,577	116	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		施設利用者数							
指標説明(式)		年間利用者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人数	目標	57000	57000	100.0	57000	100.0	57000	100.0	
	実績	58256	55183	94.7	55463	100.5			
指標名2		公民館運営審議会開催回数							
指標説明(式)		回数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
回数	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	0	0	-	0	-			

【効率性】

指標名1		1館当たりの維持管理経費							
指標説明(式)		年間維持管理経費÷施設数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	4197200	4292998	102.3	5245140	122.2	5814315	110.9	
	実績	3711161	3627308	97.7	5011177	138.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	施設の維持管理に努め、より施設の利便性を高め利用拡大に努めた	4
	組織運営・適正管理	公民館運営協議会設置公民館については、地域からの意見等を反映させている	
効率性	コストの節減	光熱水費等節約に努めている	4
	執行体制の効率性	公民館運営協議会設置公民館については、地域からの意見等を反映させている	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね予定どおり	4

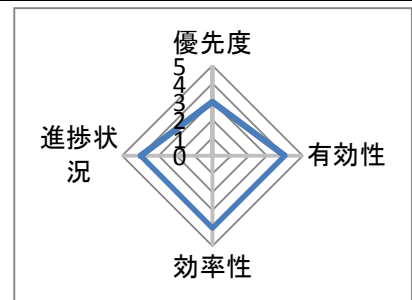
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	同好会等の減少により、使用料が減少している

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	施設の老朽化による維持管理の増大が課題である



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010301020300		事業の種類	4	
年度	28	事務事業名	公民館活動事業	予算事業名	公民館活動事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課		
施策名(中)		いつでもどこでも学べる環境をつくる		担当課長	番匠 真由美	担当者名	勝山 護
取組み事項		サービスの充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		社会教育法第5条					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	施設を利用する市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	社会環境の変化に対応した学習ができる場、同じ目的をもった自主グループの活動の場の提供、地域の生涯学習、コミュニティ活動の場とする					

2 事業の概要 Do

実施の概要		社会教育施設として様々な事業を展開し、市民の生涯学習を支援する					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	定期講座	回数	654	545	638	650	
	定期講座受講者	人数	10139	8401	10051	10000	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.020	0.040	200	0.040	100	0.040	100	
	臨時職員	3.420	3.400	99	3.400	100	3.400	100	
支出内訳	人件費	8,824,093	9,209,134	104	9,513,626	103	10,061,593	106	
	事業費	15,051,875	14,557,816	97	14,177,703	97	14,433,000	102	
	合計	23,875,968	23,766,950	100	23,691,329	100	24,494,593	103	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	23,875,968	23,766,950	100	23,691,329	100	24,494,593	103	
合計	23,875,968	23,766,950	100	23,691,329	100	24,494,593	103		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		定期講座参加者数							
指標説明(式)		参加者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人数	目標	9900	10000	101.0	9000	90.0	10000	111.1	
	実績	10139	8401	82.9	10051	119.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

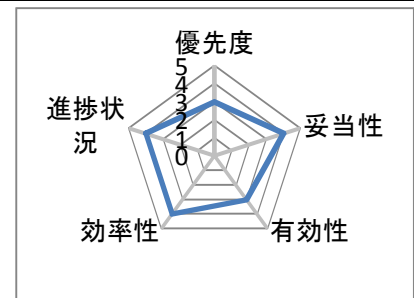
指標名1		参加者一人あたりコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷参加者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	2432	2426	99.8	2698	111.2	2449	90.8	
	実績	2354	2829	120.2	2357	83.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	社会教育施設として幅広い講座を開催し、市民の生涯学習の支援を行った	3
	市民サービス	住民の幅広い学習ニーズに即応した事業を積極的に開催する	
効率性	コストの節減	講師謝礼等、近隣自治体との調整を図っている	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね予定どおり	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	主催事業の参加者数増に努める



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	公民館ホームページ等、広報の充実を図る

配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010301020400		事業の種類	3	
年度	28	事務事業名	多目的研修センター管理事業		予算事業名	多目的研修センター管理事業 優先度 3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課		
施策名(中)		いつでもどこでも学べる環境をつくる		担当課長	番匠 真由美	担当者名	勝山 護
取組み事項		サービスの充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		若狭野多目的研修センター環境整備事業					
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	多目的研修センター施設運営					
	意図(どのような状態にしたいのか)	利用者のために多目的研修センターの維持管理をする					

2 事業の概要 Do

実施の概要		社会教育類似施設として管理運営を行う					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	施設	施設	1	1	1	1	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.040	0.052	130	0.060	115	0.052	87	
	臨時職員	0.239	0.227	95	0.227	100	0.227	100	
支出内訳	人件費	1,249,223	1,306,131	105	1,392,315	107	1,370,356	98	
	事業費	3,003,051	2,070,865	69	2,068,489	100	2,758,000	133	
	合計	4,252,274	3,376,996	79	3,460,804	102	4,128,356	119	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	247,800	254,500	103	225,300	89	224,000	99	
	一般財源	4,004,474	3,122,496	78	3,235,504	104	3,904,356	121	
合計	4,252,274	3,376,996	79	3,460,804	102	4,128,356	119		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		施設利用者数							
指標説明(式)		年間利用者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人数	目標	10000	10000	100.0	10000	100.0	10000	100.0	
	実績	8231	8724	106.0	7454	85.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		維持管理経費							
指標説明(式)		事業費+人件費							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	5174382	4354135	84.1	4396324	101.0	4128356	93.9	
	実績	4252274	3376996	79.4	3460804	102.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	施設の維持管理に努め、より施設の利便性を高め利用拡大に努めた	4
	組織運営・適正管理	公民館と同様の取り扱いとしている	
効率性	コストの節減	光熱水費等節約に努めている	4
	執行体制の効率性	公民館と同様の取り扱いとしている	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね予定どおり	4

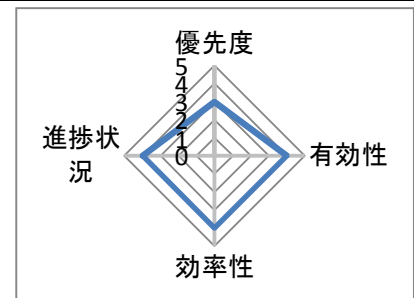
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	センター利用者に対し、受益者負担相当額を使用料として徴収する。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	施設の老朽化による維持管理の増大が課題である。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010301020500		事業の種類	4	
年度	28	事務事業名	多目的研修センター活動事業		予算事業名	多目的研修センター活動事業 優先度	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課		
施策名(中)		いつでもどこでも学べる環境をつくる		担当課長	番匠 真由美	担当者名	勝山 護
取組み事項		サービスの充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	施設を利用する市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	社会環境の変化に対応した学習ができる場、同じ目的をもった自主グループの活動の場の提供、地域の生涯学習、コミュニティ活動の場とする					

2 事業の概要 Do

実施の概要		社会教育類似施設として様々な事業を展開し、市民の生涯学習を支援する					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	定期講座	回数	116	93	116	120	
	定期講座受講者	人数	1519	1221	1332	1400	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.004	0.008	200	0.008	100	0.008	100	
	臨時職員	0.692	0.688	99	0.680	99	0.680	100	
支出内訳	人件費	2,071,085	2,138,182	103	2,181,466	102	2,277,113	104	
	事業費	2,865,499	2,777,932	97	2,728,470	98	2,752,000	101	
	合計	4,936,584	4,916,114	100	4,909,936	100	5,029,113	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	4,936,584	4,916,114	100	4,909,936	100	5,029,113	102	
合計	4,936,584	4,916,114	100	4,909,936	100	5,029,113	102		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		定期講座参加者数							
指標説明(式)		参加者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人数	目標	1500	1500	100.0	1300	86.7	1400	107.7	
	実績	1519	1221	80.4	1332	109.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

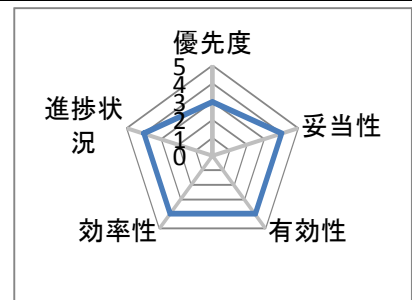
指標名1		参加者一人あたりコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷参加者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	3244	3284	101.2	3825	116.5	3592	93.9	
	実績	3249	4026	123.9	3686	91.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	社会教育施設として幅広い講座を開催し、市民の生涯学習の支援を行った	4
	市民サービス	住民の幅広い学習ニーズに即応した事業を積極的に開催する	
効率性	コストの節減	講師謝礼等、近隣自治体との調整を図っている	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね予定どおり	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	主催事業の参加者数の増加に努める



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	ホームページ等、広報の充実を図る

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010301020600		事業の種類	3	
年度	28	事務事業名	図書館管理運営事業	予算事業名	図書館運営管理事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課		
施策名(中)		いつでもどこでも学べる環境をつくる		担当課長	番匠 真由美	担当者名	桑本 健一
取組み事項		サービスの充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		図書館管理システム更新		図書館維持修繕工事			
		図書館更新事業					
根拠法規及び関連法規		社会教育法、図書館法、相生市立図書館条例・同条例施行規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民の社会教育と文化の発展を図る					

2 事業の概要 Do

実施の概要		図書館への関心を高め、読書への理解を深めるとともに、館の適切な管理運営を行う					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	貸出利用者数	人	35557	36398	34841	35000	
	会議室等利用者数	人	2191	4506	2511	2500	
	蔵書冊数	冊	124662	126220	128079	128000	
	登録者数	人	15452	16045	16159	16200	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	1.794	1.794	100	1.782	99	1.780	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	14,258,445	13,767,962	97	13,775,796	100	14,392,993	104	
	事業費	35,051,670	36,189,071	103	37,718,666	104	38,121,000	101	
	合計	49,310,115	49,957,033	101	51,494,462	103	52,513,993	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	49,310,115	49,957,033	101	51,494,462	103	52,513,993	102	
合計	49,310,115	49,957,033	101	51,494,462	103	52,513,993	102		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		住民一人当りの蔵書冊数							
指標説明(式)		蔵書冊数÷人口							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
冊	目標	4	4	100.0	4	100.0	4	100.0	
	実績	4	4	100.0	4	100.0			
指標名2		一日当りの利用者数							
指標説明(式)		(貸出利用者数+会議室等利用者数)÷開館日数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	140	135	96.4	135	100.0	135	100.0	
	実績	132	144	109.1	131	91.0			

【効率性】

指標名1		利用者一人当たりの開館コスト							
指標説明(式)		図書館管理運営事業費÷(貸出利用者数+会議室等利用者数)							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1100	1100	100.0	1200	109.1	1200	100.0	
	実績	1306	1221	93.5	1379	112.9			

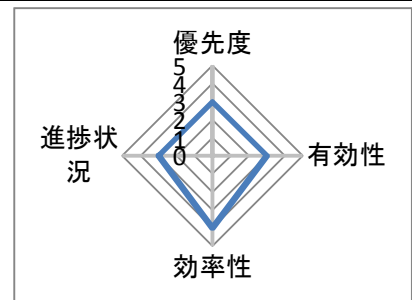
指標名2		人口に占める登録者率							
指標説明(式)		登録者数÷人口×100							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
%	目標	49	51	104.1	52	102.0	53	101.9	
	実績	51	53	103.9	53	100.0			

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	ホームページ等により、祝日開館、開館時間延長が市民に浸透してきた。	3
	組織運営・適正管理	図書館一部業務委託を実施し、コストの低減化を図りながら、サービスの向上に努めた。	
効率性	コストの節減	図書館一部業務委託により、人件費減を継続した。	4
	手段の最適性	図書館一部業務委託事業者と定期的に打合せを行い、利用者サービスの向上に努めた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	民間のノウハウの導入により、利用者の利便性が図られていることから貸出冊数の増加を目指す。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	祝日開館、開館時間延長をさらにPRしていく。

配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010301020700		事業の種類	4	
年度	28	事務事業名	図書館活動事業		予算事業名	図書館活動事業	
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課			
施策名(中)	いつでもどこでも学べる環境をつくる		担当課長	番匠 真由美	担当者名	桑本 健一	
取組み事項	サービスの充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		社会教育法、図書館法、市図書館条例・同条例施行規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民の教育と文化の発展を図る					

2 事業の概要 Do

実施の概要		図書資料の充実、適正管理による利用者への読書活動啓発を行う					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	図書購入冊数	冊	4580	4567	4197	4200	
	図書貸出冊数	冊	161349	166391	161980	162000	
	15歳以下の貸出冊数	冊	24207	27336	26832	27000	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.921	0.866	94	0.887	102	0.864	97	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	7,494,441	6,824,666	91	7,031,971	103	7,156,593	102	
	事業費	9,351,347	8,349,056	89	8,367,245	100	8,270,000	99	
	合計	16,845,788	15,173,722	90	15,399,216	101	15,426,593	100	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	1,024,000		0		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	15,821,788	15,173,722	96	15,399,216	101	15,426,593	100	
	合計	16,845,788	15,173,722	90	15,399,216	101	15,426,593	100	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		年間貸出冊数に占める児童書(文学・絵本)年間貸出冊数率							
指標説明(式)		$(\text{年間児童書(文学・絵本)貸出冊数} \div \text{年間貸出冊数}) \times 100$							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
%	目標	22	21	95.5	21	100.0	22	104.8	
	実績	22	22	100.0	27	122.7			
指標名2		有効登録者一人当たりの年間貸出冊数							
指標説明(式)		$\text{年間貸出冊数} \div \text{有効登録者数}$							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
冊	目標	12	11	91.7	11	100.0	11	100.0	
	実績	10	10	100.0	10	100.0			

【効率性】

指標名1		一日当たりの貸出冊数							
指標説明(式)		貸出冊数÷開館日数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
冊	目標	600	570	95.0	570	100.0	570	100.0	
	実績	566	584	103.2	560	95.9			

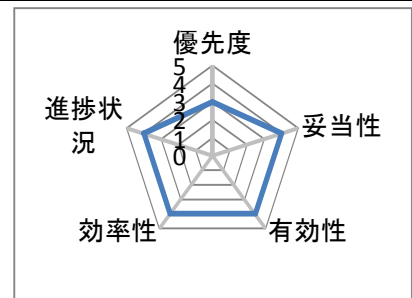
指標名2		一冊当たりの貸出コスト							
指標説明(式)		図書購入事業費÷貸出冊数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
冊	目標	55	55	100.0	55	100.0	55	100.0	
	実績	58	50	86.2	52	104.0			

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	資料館の特別展に協力し、郷土資料室で保管している資料公開を行った。	4
効率性	手段の最適性	事業の重要性により、選書については業務委託項目から除外し、引き続き司書の専門性を生かした選書を行った。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	学校図書室を含む関係機関との連携の促進



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	学校図書室向けの研修を実施

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010302010100		事業の種類	5	
年度	28	事務事業名	青少年育成補助金事業	予算事業名	青少年育成補助金事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課		
施策名(中)		地域で青少年健全育成の環境をつくる		担当課長	番匠 真由美	担当者名	根津 恭平
取組み事項		青少年健全育成体制を整備する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	青少年及びその保護者					
	誰(何)を対象として	青少年及びその保護者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	青少年のための生涯学習活動を推進することにより、青少年の健全育成を図る					

2 事業の概要 Do

実施の概要		青少年の団体に対し補助金を交付する					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	青少年芸術文化助成金	団体数	0	0	0	0	
	事業補助金交付団体	団体数	2	2	2	2	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.028	0.024	86	0.024	100	0.024	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	575,477	524,822	91	529,266	101	520,593	98	
	事業費	205,000	205,000	100	205,000	100	205,000	100	
	合計	780,477	729,822	94	734,266	101	725,593	99	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	780,477	729,822	94	734,266	101	725,593	99	
合計	780,477	729,822	94	734,266	101	725,593	99		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		青少年芸術文化活動助成金							
指標説明(式)		団体							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
団体数	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2		事業補助金交付団体							
指標説明(式)		団体							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
団体数	目標	3	3	100.0	2	66.7	2	100.0	
	実績	3	2	66.7	2	100.0			

【効率性】

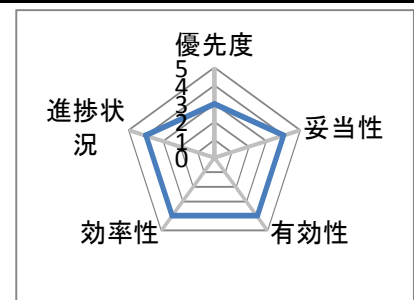
指標名1		青少年芸術文化助成金							
指標説明(式)		助成金÷団体数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2		事業補助金							
指標説明(式)		金額							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	200000	200000	100.0	160000	80.0	160000	100.0	
	実績	160000	160000	100.0	160000	100.0			

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理	少子化や団体加入に対する意識の変化等により、団体の会員数は減少傾向にあるが、青少年健全育成のための事業を支援することは必要である。	4
	期待する目標	様々な事業を展開することで、青少年の健全育成・地域の活性化に寄与している。	
効率性	コストの節減	団体の活動内容を検証しながら、補助金の額を検討していく	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね予定どおり	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	少子化により会員数が減少傾向である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	団体の活動に対する検証を続ける。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010302020100		事業の種類	4		
年度	28	事務事業名	こども学習センター管理事業		予算事業名	こども学習センター管理事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課			
施策名(中)		地域で青少年健全育成の環境をつくる		担当課長	宮崎義正	担当者名	萩原達朗	
取組み事項		青少年活動の機会や場の充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名		こども学習センター耐震改修事業						
根拠法規及び関連法規		相生市立こども学習センターの設置及び管理に関する条例						
事業の目的	誰のために(具体的に)	不登校児童生徒、青少年及び子育て中の保護者						
	誰(何)を対象として	施設管理						
	意図(どのような状態にしたいのか)	適正な施設管理						

2 事業の概要 Do

実施の概要		教育の拠点施設としてのこども学習センターの施設維持管理を行う。 こども学習センターには、子育て学習センター、少年育成センター、適応教室、教育研究所がある。						
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画		
	維持修繕件数	件	3	3	3	1		

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.224	0.224	100	0.224	100	0.224	100	
	臨時職員	0.136	0.136	100	0.132	97	0.136	103	
支出内訳	人件費	2,424,565	2,363,806	97	2,380,390	101	2,477,177	104	
	事業費	2,806,622	2,815,316	100	2,751,726	98	8,995,000	327	
	合計	5,231,187	5,179,122	99	5,132,116	99	11,472,177	224	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	5,231,187	5,179,122	99	5,132,116	99	11,472,177	224	
合計	5,231,187	5,179,122	99	5,132,116	99	11,472,177	224		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

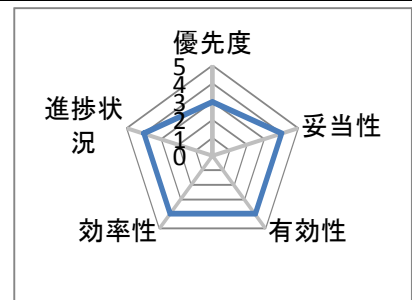
指標名1		各年度の決算額(千円)							
指標説明(式)		前年比(人的経費、臨時的経費を除く。)							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	3,005	3,038	101.1	3,000	98.7		0.0	
	実績	2,807	2,815	100.3		0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	ほぼ達成されているが、更なる向上の余地がある。	4
	市民サービス	現状を維持している。	
効率性	コストの節減	必要最小限のコストで運営している。	4
	手段の最適性	効率的な維持修繕を行っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	平成28年度土地の購入に決定に伴い、今後の長期的な施設の在り方、方針を決定する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	施設の在り方の方針を決定し、老朽化に伴う改修等を検討する。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010302020200		事業の種類	4		
年度	28	事務事業名	青少年育成事業		予算事業名	青少年育成事業		
優先度	-		担当部局名	教育委員会生涯学習課				
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当課長	番匠 真由美		担当者名	根津 恭平	
施策名(中)	地域で青少年健全育成の環境をつくる		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無	
取組み事項	青少年活動の機会や場の充実を図る							
実施計画事業名	青少年育成事業(イングリッシュキャンプ)							
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	青少年及びその保護者						
	誰(何)を対象として	青少年及びその保護者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	青少年のための生涯学習活動を実施することにより、青少年の健全育成を図る						

2 事業の概要 Do

実施の概要	げんキッズイングリッシュキャンプ、げんキッズチャレンジウォークを、体験事業として実施する。						
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	げんキッズイングリッシュキャンプ	人数	48	50	85	100	
	げんキッズチャレンジウォーク	人数	0	0	0	0	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.600	0.452	75	0.428	95	0.408	95	
	臨時職員	0.600	0.400	67	0.400	100	0.400	100	
支出内訳	人件費	6,465,333	4,734,718	73	4,616,206	97	4,661,793	101	
	事業費	2,409,609	2,474,360	103	3,865,942	156	3,632,000	94	
	合計	8,874,942	7,209,078	81	8,482,148	118	8,293,793	98	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	480,000	500,000	104	850,000	170	1,000,000	118	
	一般財源	8,394,942	6,709,078	80	7,632,148	114	7,293,793	96	
合計	8,874,942	7,209,078	81	8,482,148	118	8,293,793	98		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	げんキッズイングリッシュキャンプ参加人員								
指標説明(式)	参加者数								
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標	50	50	100.0	100	200.0	100	100.0	
	実績	48	50	104.2	85	170.0			
指標名2	げんキッズチャレンジウォーク参加人員								
指標説明(式)	参加者数								
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	0	0	-	0	-			

【効率性】

指標名1		げんキッズイングリッシュキャンプボランティア人員							
指標説明(式)		ボランティア人員数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標	10	11	110.0	20	181.8	35	175.0	
	実績	15	17	113.3	38	223.5			

指標名2		げんキッズチャレンジウォークボランティア人員							
指標説明(式)		ボランティア人員数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	0	0	-	0	-			

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	2回実施することで、申込者全ての参加を受け入れすることができた。	4
	市民サービス	子どものニーズに応える事業展開を行い、適切なサービス提供を行う。	
効率性	コストの節減	事業全体としては、参加者数に対し効率的に運営出来ている。	4
	手段の最適性	チャレンジウォークの内容をイングリッシュキャンプに取り入れ統合したことにより、子どもたちへの活動の幅が広がった。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね予定どおり	4

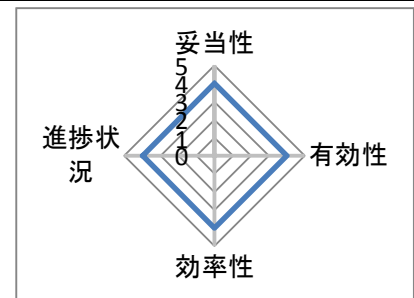
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	事業内容を含め、全体的な事業再構築の必要性がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	委託業者との連携を綿密に図り、効率的な事業運営をはかる。



配点	32.5
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010302020300	事業の種類	4
年度	28	事務事業名	放課後子ども教室推進事業	予算事業名	放課後子ども教室推進事業 優先度
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課	
施策名(中)	地域で青少年健全育成の環境をつくる		担当課長	番匠 真由美	担当者名 勝山 護
取組み事項	青少年活動の機会や場の充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	小学校児童とその保護者			
	誰(何)を対象として	小学校児童			
	意図(どのような状態にしたいのか)	放課後に安心安全に活動できる場所の確保及び地域・世代間交流			

2 事業の概要 Do

実施の概要	小学校全学年を対象に、週2回から3回、放課後から午後4時30分(冬季は午後4時)まで、地域住民の協力の下、学校施設を利用し、安心できる学習の場や遊びの場を提供する。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	開設校	学校数	7	7	7	7

3 投入資源

会計区分		一般会計		事業費単位:円					
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.124	0.160	129	0.156	98	0.136	87	
	臨時職員	0.728	0.648	89	0.648	100	0.648	100	
支出内訳	人件費	3,088,325	3,174,686	103	3,213,222	101	3,199,705	100	
	事業費	2,121,778	2,039,963	96	2,035,914	100	2,514,000	123	
	合計	5,210,103	5,214,649	100	5,249,136	101	5,713,705	109	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	855,000	855,000	100	1,078,000	126	1,113,000	103	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	4,355,103	4,359,649	100	4,171,136	96	4,600,705	110	
合計	5,210,103	5,214,649	100	5,249,136	101	5,713,705	109		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	開設学校数								
指標説明(式)	学校数								
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
学校数	目標	7	7	100.0	7	100.0	7	100.0	
	実績	7	7	100.0	7	100.0			
指標名2	参加児童数								
指標説明(式)	延参加児童数								
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	15000	15000	100.0	15000	100.0	15000	100.0	
	実績	14040	14620	104.1	14585	99.8			

【効率性】

指標名1		受け入れ一校あたりコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷開設学校数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	755199	855752	113.3	829744	97.0	816243	98.4	
	実績	744300	744949	100.1	749876	100.7			

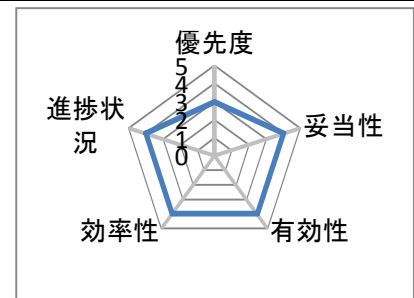
指標名2		受け入れ一人あたりコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷延べ参加者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	352	399	113.4	387	97.0	380	98.2	
	実績	371	357	96.2	360	100.8			

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	参加児童は横ばいの状況である。	4
	市民サービス	宿題や復習などの学び、体育館や運動場でのボール遊びや伝統遊びなど様々な活動を通して、地域のボランティアとの交流を図り、子どもの安全な居場所となっている。	
効率性	コストの節減	指導ボランティアの適切な配置により、無駄のない運営が行われた	4
	手段の最適性	指導ボランティアによる適切な運営が行われた	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	指導ボランティアの確保



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	入級児童数によるボランティアの適切な配置

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010302030100		事業の種類	1	
年度	28	事務事業名	補導委員活動事業	予算事業名	補導委員活動事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課		
施策名(中)		地域で青少年健全育成の環境をつくる		担当課長	坂本 浩宣	担当者名	木本 博子
取組み事項		補導活動や相談体制の充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市立こども学習センターの設置及び管理に関する条例(平成14年条例第42号)					
事業の目的	誰のために(具体的に)	青少年					
	誰(何)を対象として	青少年					
	意図(どのような状態にしたいのか)	青少年の非行を防止し、その健全な育成を図ることを目的とする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		少年の補導、少年の非行防止、関係諸機関との連絡調整、青少年や家族の悩みに対し適切な助言と指導の充実を図る。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	補導回数	回	205	180	205	205	
	補導従事者数	人	925	854	937	850	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円			
インプット指標	26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104
	参事以下職員	0.096	0.064	67	0.080	125	0.080	100
	臨時職員	0.004		0				
支出内訳	人件費	1,112,061	824,102	74	951,226	115	962,993	101
	事業費	1,510,725	1,516,937	100	1,511,101	100	1,549,000	103
	合計	2,622,786	2,341,039	89	2,462,327	105	2,511,993	102
財源内訳	国庫支出金			-		-		-
	県支出金			-		-		-
	市債			-		-		-
	その他			-		-		-
	一般財源	2,622,786	2,341,039	89	2,462,327	105	2,511,993	102
合計	2,622,786	2,341,039	89	2,462,327	105	2,511,993	102	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	青少年の非行を防止し、その健全な育成が図れた。	4
	関係(根拠)法令等から見た効果	法律に基づいた青少年育成活動が効果的に実施できた。	
効率性	コストの節減	効率的なコストの運用が図れた。	3
	執行体制の効率性	効果的に活動体制により、効率的に行うことができた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

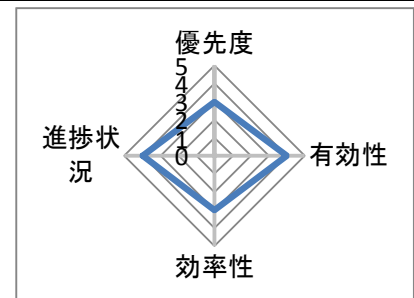
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	地域住民・自治会等の継続的な協力を得る。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	地域住民・自治会等の活動への理解と協力を得られる取り組みを行う。



配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010302040100		事業の種類	1	
年度	28	事務事業名	青少年問題協議会運営事業		予算事業名	青少年問題協議会運営事業 優先度	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課		
施策名(中)		地域で青少年健全育成の環境をつくる		担当課長	坂本 浩宣	担当者名	木本 博子
取組み事項		地域ぐるみで健全育成を推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市青少年問題協議会設置条例 地方青少年問題協議会法(昭和28年法律第83号)第6条					
事業の目的	誰のために(具体的に)	青少年					
	誰(何)を対象として	青少年					
	意図(どのような状態にしたいのか)	青少年の指導、育成、保護及び矯正					

2 事業の概要 Do

実施の概要		青少年問題協議会において、青少年の指導、育成、保護及び矯正に関する事項を調査審議し、関係行政機関相互の連絡調整を行う。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.064	0.152	238	0.152	100	0.152	100	
	臨時職員		0.008	-	0.008	100	0.008	100	
支出内訳	人件費	854,405	1,502,670	176	1,514,602	101	1,553,945	103	
	事業費	100,100	46,200	46	98,900	214	122,000	123	
	合計	954,505	1,548,870	162	1,613,502	104	1,675,945	104	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	954,505	1,548,870	162	1,613,502	104	1,675,945	104	
合計	954,505	1,548,870	162	1,613,502	104	1,675,945	104		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	青少年の指導、育成、保護及び矯正。	3
	組織運営・適正管理	法律に基づいた実施体制により効果が得られた。	
効率性	執行体制の効率性	協議会の運営が効率的に行われた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

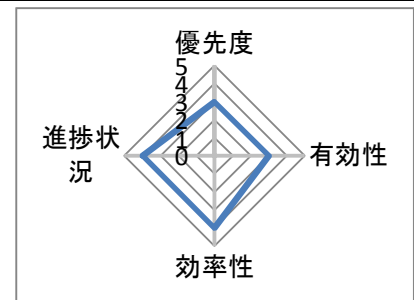
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	法律に基づいた青少年の指導、育成等の適正な活動を行う。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	警察等の関係機関との役割分担を明確にし、法律に基づいた活動を実施するよう努める。



配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010302040200	事業の種類	1
年度	28	事務事業名	青少年健全育成活動事業	予算事業名	青少年健全育成活動事業 優先度 3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課
施策名(中)		地域で青少年健全育成の環境をつくる	担当課長	坂本 浩宣	担当者名 木本 博子
取組み事項		地域ぐるみで健全育成を推進する	実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規		相生市立こども学習センターの設置及び管理に関する条例(平成14年条例第42号)			
事業の目的	誰のために(具体的に)	青少年			
	誰(何)を対象として	青少年			
	意図(どのような状態にしたいのか)	青少年の非行を防止し、その健全な育成を図ることを目的とする。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		中学校区青少年健全育成協議会の活動を通して、環境浄化活動や青少年の問題行動の未然防止を地域ぐるみで取り組む。また、青少年や家族の悩みに対し、適切な助言と指導の充実を図る。				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	教育相談	件	103	97	86	85

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.160	0.076	48	0.076	100	0.076	100	
	臨時職員	0.008		0		-		-	
支出内訳	人件費	1,617,653	913,886	56	921,086	101	931,393	101	
	事業費	6,211,866	6,335,861	102	6,426,429	101	6,782,000	106	
	合計	7,829,519	7,249,747	93	7,347,515	101	7,713,393	105	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-	593,980	-	155,700	26	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	7,829,519	7,249,747	93	6,753,535	93	7,557,693	112	
合計	7,829,519	7,249,747	93	7,347,515	101	7,713,393	105		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		相談経費							
指標説明(式)		事業決算額÷相談件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	98814	69350	70.2	66890	96.5	79778	119.3	
	実績	60215	65318	108.5	74726	114.4			

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	青少年の非行を防止し、その健全な育成を図ることができた。	4
	関係(根拠)法令等から見た効果	法律に基づいた育成活動が実施できた。	
効率性	コストの節減	効率的なコストの運用が図れた。	4
	執行体制の効率性	学識経験者等による執行体制により効率的活動の実施が行えた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

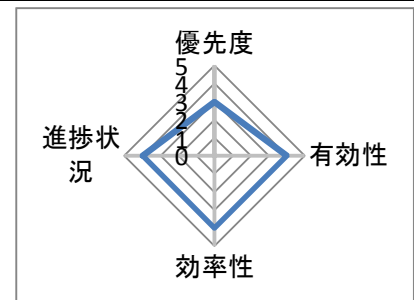
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	より効果的な活動体制の整備を要する。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	スクールソーシャルワーカーを有効活用し、学校・地域住民・関係機関と連携した取り組みを行う。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010302040300		事業の種類	4	
年度	28	事務事業名	相生市民さわやかあいさつ運動事業		予算事業名	相生市民さわやかあいさつ運動事業	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	企画総務部企画広報課		
施策名(中)		地域で青少年健全育成の環境をつくる		担当課長	松尾 次郎	担当者名	横川 昌紀
取組み事項		地域ぐるみで健全育成を推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民総ぐるみのあいさつ運動を推進することにより、青少年の健全育成や社会性を育むとともに、地域の青少年は地域で守り育てる意識の高揚を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要						
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.120	0.012	10	0.012	100	0.012	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,288,293	435,038	34	438,846	101	425,793	97	
	事業費	469,050		0	445,500	-	446,000	100	
	合計	1,757,343	435,038	25	884,346	203	871,793	99	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,757,343	435,038	25	884,346	203	871,793	99	
合計	1,757,343	435,038	25	884,346	203	871,793	99		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	啓発物資等により、広く市民に呼び掛けることができた。	4
効率性	手段の最適性	啓発用のぼりの管理方法。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

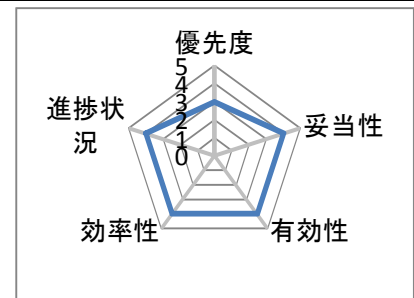
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	あいさつ運動を定着させる啓発を継続していく必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	庁内及び各自治体単位での啓発用のぼりの管理方法を検討する。



配点	32.5
総合評価	24